

【人生の最終段階についての話し合いの有無】

問17 問16の人生の最終段階の過ごし方について、誰かと話し合ったことがありますか。（〇はひとつ）

- 1 はい 問17-1、問17-2をお答えください
- 2 いいえ 問18へお進みください

問17で「1 はい」と回答された方におうかがいします。

問17-1 誰と話し合われましたか。（〇はいくつでも）

- 1 ご家族・親族
- 2 友人・知人
- 3 かかりつけの医師
- 4 介護支援専門員（ケアマネジャー）
- 5 その他（ ）

問17で「1 はい」と回答された方におうかがいします。

問17-2 決めた内容を文書に記載するなど共有できるようにしていますか。（〇はひとつ）

- 1 はい
- 2 いいえ



【認知症の認知度】

問18 あなたは「認知症」という病気を知っていますか。（〇はひとつ）

- 1 原因となる病気や症状などについてだいたいわかる
- 2 言葉は聞いたことがあるが、原因となる病気や症状などについてはわからない
- 3 わからない

【認知症の人の支援】

問19 あなたは、認知症の人の支援に必要なことは何だと思いますか。（〇はいくつでも）

- 1 認知症に関する相談窓口の充実
- 2 認知症の早期発見への取り組み
- 3 病院やかかりつけの医師における、認知症に関する医療サービスの充実
- 4 ご家族や地域の人、職場などでの認知症についての理解が深まること
- 5 介護職員が行う認知症ケアの質の向上
- 6 認知症の人を介護するご家族に対する支援
- 7 認知症に関する介護保険サービスや福祉サービスの充実
- 8 認知症の人自らが社会の中で役割を得て活動する場の確保
- 9 認知症の人やその家族が気軽に立ち寄ることができる集いの場（認知症カフェ等）の充実
- 10 認知症予防（認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を緩やかにするという意味）に関する取り組みの充実
- 11 認知症の人に対する虐待防止や本人の財産を守る（消費者被害の防止等）などの権利擁護に関する支援
- 12 その他（ ）
- 13 わからない

【孤立死について】

問20 あなたは、孤立死についてどのように考えますか。（〇はひとつ）

- 1 身近に感じる
- 2 やや身近に感じる
- 3 あまり身近に感じない
- 4 身近に感じない
- 5 わからない

問20-1 をお答えください

問20で「1 身近に感じる」「2 やや身近に感じる」と回答された方におうかがいします。

問20-1 あなたが身近だと感じる理由は次のどれにあたりますか。（〇はいくつでも）

- 1 親族との付き合いが少ないから
- 2 近所との付き合いが少ないから
- 3 友人との付き合いが少ないから
- 4 あまり外出しないから
- 5 病気がちで、健康に不安があるから
- 6 その他（ ）
- 7 特に理由はない



【地域での見守り活動の認知度と必要性】

問21 孤立死を防ぐためには地域での見守りが必要です。支援を必要とする高齢者等を日常的に見守るための次の取組みのうち、あなたが知っている取組み、及び必要と思う取組みに〇をつけてください。（〇はいくつでも）

	① 知っている 取組み	② 必要と思う 取組み
(1) 緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス (例：大阪市緊急通報システム事業、民間の会社が行う見守りサービス)	1	1
(2) 健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス	2	2
(3) 地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動などの高齢者の安否確認などの取組み	3	3
(4) 弁当の配達時に安否確認を行う取組み	4	4
(5) 集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み (例：ふれあい食事サービス、ふれあい喫茶、いきいきサロン)	5	5
(6) 身近な地域で行われている体操や運動等の通いの場	6	6
(7) ごみの引き取り時に異常があれば緊急連絡先に通報するサービス	7	7
(8) 電気、ガス、水道料金の検針時や新聞・牛乳配達時などの安否確認	8	8
(9) 介護保険サービスなどの利用	9	9
(10) 健康づくりや介護予防に関する取組み	10	10
(11) 友人や知人とのつながり	11	11
(12) 近所の人と声を掛け合うこと	12	12

※用語の説明は別紙参照

さいがい じ きんきゅう じ ひなん
【災害時・緊急時の避難】

とい 問22 あなたは、災害時や緊急時にひとりで避難することができますか。（〇はひとつ）

- 1 避難できる
 - 2 ひとりで判断できるが、避難はできない
 - 3 ひとりでは判断できないし、避難もできない
 - 4 わからない
- 問22-1 をお答えください

とい 問22 で「2」～「4」と回答された方におうかがいします。

とい 問22-1 災害時や緊急時に、手助けを頼める人（同居者を含む）はいますか。（〇はひとつ）

- | | |
|--------|--------------|
| 1 常時いる | 2 時間帯によってはいる |
| 3 いない | 4 わからない |

さいがい じ しんぱいごと
【災害時の心配事】

とい 問23 あなたは、災害が起きた時の心配事がありますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 避難情報がわからない | 2 避難所が遠い |
| 3 浸水の恐れなどがある | 4 家が倒壊の恐れがある |
| 5 同居のご家族が動けない | 6 避難所までの移動手段がない |
| 7 避難場所がわからない | 8 わからない |
| 9 その他（ ） | |
| 10 心配事は特にない | |

ちいき ほうかつしえん そうごう そうだん まどぐち りよう じようきよう まんぞくど
【地域包括支援センター・総合相談窓口（ランチ）の利用状況・満足度】

とい 問24 あなたは、地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ランチ）を利用したことがありますか。（〇はひとつ）

- 1 利用したことがある（知っている） → 問24-1、問24-2 をお答えください
- 2 知っているが、利用したことはない
- 3 聞いたことはあるが、何をするとところかわからない → 19 ページの問25へすすみください
- 4 聞いたことがない（知らない）

とい 問24 で「1 利用したことがある（知っている）」と回答された方におうかがいします。

とい 問24-1 あなたは、地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ランチ）をどのようにして知りましたか。主なものをひとつ選んでお答えください。（〇はひとつ）

- 1 区役所・保健福祉センターから聞いた
- 2 介護支援専門員（ケアマネジャー）・ホームヘルパー・施設職員などから聞いた
- 3 かかりつけの医師や病院など医療機関から聞いた
- 4 民生委員・町会などの地域役員から聞いた
- 5 ご家族・友人、知人から聞いた
- 6 パンフレットや資料から知った
- 7 インターネットを通じて知った
- 8 その他（ ）

問24で「1 利用したことがある(知っている)」と回答された方におうかがいします。

問24-2

あなたが、地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ランチ）を利用（相談）された目的について、次の1～9に○をつけてください。（○はいくつでも）
また、その時の満足度についてあてはまるものに○をつけてください。

A. 利用（相談）された目的		B. 相談したときの満足度 (1～4のいずれかに○)			
↓ 該当する番号にすべて○をしてください。		満足	やや満足	やや不満	不満
1	介護や日常生活の困りごと (介護保険制度、ご家族の介護など)	1	2	3	4
2	物忘れ、認知症について	1	2	3	4
3	高齢者虐待について	1	2	3	4
4	成年後見制度について	1	2	3	4
5	要支援1、要支援2の認定を受けた後の サービス利用について	1	2	3	4
6	介護予防について	1	2	3	4
7	保健、医療サービスや制度について	1	2	3	4
8	一緒に活動したことがある (研修、高齢者の見守り活動など)	1	2	3	4
9	その他 ()	1	2	3	4

【高齢者虐待の相談先】

問25

あなたは、あなた又はあなたの周囲の高齢者が身近な人からの暴力や暴言、身体拘束や閉じ込め、介護や世話の放棄、年金の使い込みといった「高齢者虐待」を受けた場合の通報・相談先をご存じですか。（○はひとつ）

1 知っている

2 知らない

上記のようなことでの困りごとやご相談は

- ・各区役所保健福祉課（平日9：00～17：30）
- ・お住まいの地域を担当する地域包括支援センター
（平日9：00～19：00 土曜日9：00～17：00）
- ・お住まいの地域を担当する総合相談窓口（ランチ）（平日9：00～17：30）
- ・休日夜間福祉電話相談 ☎06-4392-8181（上記以外の時間帯での受付）

【消費者被害の経験】

問26

あなたは、これまでに消費者被害にあったことや、あいさうになったことはありますか。（○はひとつ）

1 ある

2 ない



【老人福祉センターの利用状況】

問27 老人福祉センター※について、あなたの利用状況をお答えください。（〇はひとつ）

- 1 利用している
- 2 利用していない 問27-1 をお答えください

※用語の説明は別紙参照

問27で「2 利用していない」と回答された方におうかがいします。

問27-1 「利用していない」のはどのような理由からですか。（〇はひとつ）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 サービス内容を知らない | 2 サービス内容に魅力がない |
| 3 仕事・地域活動等が忙しい | 4 施設が自宅から遠い |
| 5 ひとりで施設に入りにくい | 6 施設がどこにあるか知らない |
| 7 その他（ ） | |



【特別養護老人ホーム入所意向】

問28 あなたは、特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）に入所することになった場合、どちらの施設に入りたいと思われますか。（〇はひとつ）

- 1 多床室の特別養護老人ホーム
- 2 ユニット型個室の特別養護老人ホーム
- 3 どちらでもよい

【居室イメージ】

- 1 多床室の特別養護老人ホーム

4人部屋（多床室）を基本として、おおむね30人から50人程度の集団生活を営みながら、食事、入浴、排泄などの日常生活において必要な介護を提供します。



- 2 ユニット型個室の特別養護老人ホーム

多床室より居住費が少し高くなりますが、すべて個室で、おおむね10人程度の少人数を生活単位として、居間・食堂などの共有スペースを設け、個々の生活リズムに配慮した介護を提供します。



【特別養護老人ホームの整備と介護保険料】

問29 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）の整備についておたずねします。特別養護老人ホームの整備が進めば、介護保険料が高くなりますが、あなたは、今後の整備についてどうと思われますか。（〇はひとつ）

- 1 介護保険料がある程度高くなっても、今後も特別養護老人ホームを増やす必要があると思う
- 2 介護保険料が高くなるのは困るが、ある程度増やす必要があると思う
- 3 特別養護老人ホームをこれ以上増やす必要はないと思う
- 4 わからない

【本市関連施設・事業の利用状況・意向】

問30

次の施設や事業について、あなたの利用状況や意向をお答えください。
(〇はそれぞれひとつずつ)

利用状況		利用あり	知っているが 利用なし		知らない
利用意向			今後利用したい	利用したくない	
いきがい	①敬老優待乗車証	1	2	3	4
	②介護予防ポイント事業	1	2	3	4
	③シルバー人材センター	1	2	3	4
	④高齢者入浴割引事業	1	2	3	4
安心安全	⑤緊急通報システム事業（固定型）	1	2	3	4
	⑥緊急通報システム事業（携帯型）	1	2	3	4
	⑦安否確認のある食事サービス事業	1	2	3	4
	⑧日常生活用具給付事業	1	2	3	4
	⑨ごみの持ち出しサービス	1	2	3	4
	⑩認知症高齢者見守りメール	1	2	3	4
	⑪認知症高齢者位置情報探索事業（GPS）	1	2	3	4
	⑫見守り相談室による地域の見守り活動の支援	1	2	3	4
生涯学習	⑬生涯学習センター、生涯学習ルーム事業	1	2	3	4
	⑭市立文化施設等敬老優待	1	2	3	4
	⑮市立スポーツ施設の高齢者割引	1	2	3	4
制度	⑯あんしんさぽーと事業	1	2	3	4
	⑰成年後見制度	1	2	3	4

（施設や事業の説明は別紙参照）

【自立支援・重度化防止に役立つケアマネジメントについて】

自立支援・重度化防止に役立つケアマネジメントとは、高齢者の方が生活上の困りごとをサービスで補うだけでなく、将来なりたい自分やしたいことの実現を目指すために、必要なリハビリテーション等をケアプランに位置づけるケアマネジメントです。

問31

ケアマネジャーから、いつまでも住み慣れた地域で、いきいきと生活続けることに役立つケアプランが提案された場合、そのプランに含まれるリハビリテーション等を実施してみたいですか。（〇はひとつ）

- 1 実施したい
- 2 実施したくない



【重点を置いてほしい高齢者施策】

問32

あなたは、高齢者のための施策としてどのような点に重点を置くべきだと考えますか。
 主なものに3つまで○をつけてください。（○は3つまで）

- 1 健康づくり・介護予防の充実
- 2 いきがいづくり
- 3 就労支援
- 4 介護保険サービス（居宅サービス）の充実
- 5 介護保険サービス（施設サービス）の充実
- 6 介護保険外サービス（問30にある福祉サービスなど）の充実
- 7 認知症に関する施策の充実
- 8 在宅医療など地域での適正な医療提供体制の充実
- 9 虐待防止や本人の財産を守るなどの権利擁護
- 10 高齢者施策に関する情報の提供と相談
- 11 民生委員・町会などの地域の見守り、相談機能の充実
- 12 若い世代との交流を促進するしくみづくり
- 13 防災対策の充実
 （災害時において避難支援等が必要な方（避難行動要支援者）の支援対策）
- 14 建物や公共交通機関のバリアフリー化の促進
- 15 公園や歩道、ベンチの設置など、安心して外出・休息できる場の整備
- 16 高齢者向け住宅や住宅改修助成の充実
- 17 その他（ ）
- 18 特になし



また、○をつけた中で特に重点を置くべきだと考えるものはどれですか。番号を1つだけお書きください。

番号

大阪市の高齢者施策についてのご意見・ご要望などを、次の欄に記入してください。

◎ 高齢者施策に関するご意見・ご要望など

調査票は以上で終わりとなります。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。